

月とアマリリス

著者名： 町田 そのこ
出版社： 小学館

本屋大賞作家の新境地となるサスペンス巨編北九州市の高蔵山で一部が白骨化した遺体が発見された。遺体と一緒に花束らしきものが埋められており、死因は不明だが大きな外傷はなかった。遺体の着衣のポケットの中には、メモが入っていた。部分的に読めるその紙には『ありがとう、ごめんね。みちる』と書かれていた。自分と同じ「みちる」という名前、中学生のころから憧れ、頑張り続けた記者の仕事。すべてから逃げたままの自分でいいのか。みちるは、この事件を追うことを決めた――。

月収

著者名： 原田ひ香
出版社： 中央公論新社

大ベストセラー『三千元の使いかた』と一緒に読んでほしい新作！
それぞれの月収に見合う生活を送る6人。欲しいもの、不要なもの、そして、お金では買えないもの――。

遊園地ぐるぐるめ

著者名： 青山 美智子田中 達也
出版社： ポプラ社

今まで見たことのない！最高に幸せなコラボレーション連作短編小説。
青山美智子さん作品の装丁を数多く手掛けている田中達也さんのアート作品。今回は「田中さんの作品を見て青山さんが物語を執筆し、その物語を読んで田中さんがさらにアートを作成する」という、楽しさに満ちた小説です。

小説 アニメ 葬送のフリーレン 1

著者名： 時海 結以
出版社： 小学館

話題の後日譚ファンタジーが小説に！
これは、冒険の終わりからはじまる物語。魔王を倒して王都へ凱旋した勇者ヒンメル、僧侶ハイター、戦士のアイゼン、そして、魔法使いのフリーレン。長い時を生きる魔法使いフリーレンは、なぜ「人間を知る旅」に出ることになったのか？
話題の後日譚（アフター）ファンタジー第1巻！

マスカレード・ゲーム

著者名： 東野 圭吾
出版社： 集英社

解決の糸口すらつかめない3つの殺人事件。共通点はその殺害方法と、被害者はみな過去に人を死なせた者であることだった。捜査を進めると、その被害者たちを憎む過去の事件における遺族らが、ホテル・コルテシア東京に宿泊することが判明。警部となった新田浩介は、複雑な思いを抱えながら再び潜入捜査を開始する――。

都市を学ぶ人のためのキーワード事典 これからを見通すテーマ24

著者名： 饗庭 伸
出版社： 学芸出版社

都市をめぐる実務・研究に携わるなら押さえておきたい話題を、気鋭の執筆陣が24のテーマ・約230個のキーワードでコンパクトに解説。理念、政策、制度、手法、技術までバランスよくカバーし、言葉の世代交代やトレンド、テーマ間の関係がつかめる。

薬屋のひとりごと(1)

著者名： 日向夏
出版社： スクウェア・エニックス

中世の宮中で下働きをする少女・猫猫(マオマオ)。花街で薬師をやっていた彼女が、帝の御子たちが皆短命であるという噂を聞いてしまったところから、物語は動き始める。持ち前の好奇心と知識欲に突き動かされ、興味本位でその原因を調べ始める猫猫の運命は――…!?

その復讐、お預かりします

著者名： 原田ひ香
出版社： 双葉社

恋と仕事を同時に失い深く傷ついた美菜代は、自分を裏切った元彼への復讐を心に誓い、凄腕だと噂される復讐屋・成海慶介の事務所を訪れる。しかし、セレブからのみの依頼を受ける成海には復讐の代行を断られてしまう。美菜代は仕方なく、秘書として成海の事務所働きながら「復讐」の極意を学ぼうとするが……。理不尽な出来事に苦しみ、一人で辛さを抱えた時に、味方になってくれる一冊が新装版として再登場。読むほどに気持ちが晴れていく、自分の人生を取り戻すための物語。

マンガでわかる認知行動療法

著者名： 大野 裕
出版社： 池田書店（新宿区）

ストレスを受けても、極端な判断をせず、適度な判断ができるスキル
 ・認知行動療法をわかりやすく解説
 ・不安はシャボン玉！？心のしくみを解説
 ・看護師、保健師、介護士、カウンセラー、教師など、支援者が必要な技術や知識を解説
 ・「認知再構成法」「行動活性化」「問題解決技法」など具体的な方法を解説

死ぬまでに観に行きたい世界の有名美術を1冊でめぐる旅

著者名： 山上 やすお
出版社： ダイヤモンド社

◎世界の美術館に足を運び 誰もが知る名画を目にしたときの感動を味わえる1冊。
 ◎コンセプトは「世界美術旅行」。作品だけにとどまらず 展示されている美術館 国や街の情報も伝える。
 ◎実際に海外の美術館に足を運び 隣でガイドをしてもらいながら 自分の目で名画を観ているような擬似体験ができる本。
 ◎ルーヴル美術館の『モナ・リザ』や ムンクの『叫び』『ヴィーナスの誕生』など 美術に興味がない人でも「名前くらいは知っている」超有名美術作品を中心に紹介。

遠野物語と怪異

著者名： 遠野市立博物館
出版社： 河出書房新社

ようこそ『遠野物語』の世界へ！ 遠野に伝わる怪奇譚などを紹介し、民話の里を読み解く。遠野の風景や妖怪出没地点の写真が満載！

横濱 レトロモダン建物めぐり

著者名： 横濱たても探訪会
出版社： メイツ出版

横浜は日本の開港都市として西洋文化と日本文化が交錯し、多様な建築様式が生まれた街です。また、横浜はさまざまな文化や歴史的な出来事の発祥の地でもあります。この本は、まだ知らない横浜の素敵な建物に出会ったり、よく知っている観光名所でも意外な発見をしたりと、実際に持ち歩けながら見て楽しめるガイドブックを目指しています。

名探偵コナン 隻眼の残像

著者名： 水稀 しま
出版社： 小学館

氷雪吹き荒れる山岳で起こる因縁のミステリー 小五郎に警視庁時代の同僚だった「ワニ」から電話が入る。10か月前、ある事件の関係者を追っていた大和敢助刑事が雪崩に飲み込まれた。奇跡的に生還したものの、左眼を負傷し隻眼となっていた。その後敢助は、侵入事件の事情聴取に訪れた天文台の巨大パラボアンテナで負傷した目がうずき出し…。一方、ワニとの待ち合せ場所に向かった小五郎とコナンたちは、響き渡る銃声に走り出すが!?

君がいるから

著者名： まなつ&まふゆ
出版社： 大和書房

「僕が君の泣ける場所になるよ」ねことペンギン、正反対なふたりのあたたかな友情に癒されるイラスト&メッセージブック。

にげてさがして

著者名： ヨシタケ シンスケ
出版社： ポプラ社

「よのなかにはひどいひとがたくさんいる。でも、やさしいひとたくさんいる。これはどちらもほんとうだ。」
 私たちが生きる世界にはいろいろな人がいて、それぞれが違う感情や言葉をもっています。それらは自分だけのものなのに、大きな流れや「みんな」に飲み込まれて、自分を大切にできなくなってしまう。
 にげてさがして、うごいて うごいて——ラストは、あなただけの物語に続きます。

たいせつなこと

著者名： マーガレット・ワイス・ブラウン
出版社： フレーベル館

児童文学作家ワイス・ブラウンとコールデコット賞受賞画家ワイスガードによる詩の絵本。1949年にアメリカで出版されてからずっと、世界中で読み継がれています。生きていく上でほんとうに「たいせつなこと」とはなにかを、やさしく詩的な文章で語りかけます。